

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (10) TACの農業資金の取組み
JAあさか野（埼玉県）

新規	継続
	○
	（平成 26 年 9 月）

1 動機 （経緯）	次世代を含む農業者が円滑に営農活動を継続できるように、当JAでは農業メインバンク機能の強化を重点取組項目と位置づけ、融資業務に対応できるTAC（営農経済渉外担当者）を育成するとともに、金融面でのサポートが必要として、本事業に取り組んでいます。
2 概要	JA独自資金であるJA農業資金（担い手応援・制度資金）のPRにより利用度の向上を図っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備資金：金利年 0.5%、無担保、融資額 10 百万円まで等。 ・ 運転資金：金利年 0.45%、無担保、融資額 売上高の 80%まで等。 TAC担当者 9 名が 211 先の重点推進先に対し、四半期に 1 度以上の訪問を目標として設定し、農業融資のPRによる資金需要の発掘に取り組んでいます。全農発行のグリーンレポートを全戸配布して営農情報の提供を行いました。訪問後にフォローアップを行い、次回の活動につなげています。
3 成果 （効果）	組合員の営農経営についての理解を深め、組合員の抱える問題点、JAへの要望等について今まで以上に聞き取りができるようになりました。 認定農業者制度のメリットを組合員に提案しています。 平成 28 年度農業資金実行実績 20 件 175 百万円 前年対比 208%
4 今後の 予定（課題）	引き続き継続訪問を実施し、農業資金のPRをしていきます。 行政と連携し、認定農業者の増加を図ることが必要と考えます。 農業資金利用者だけでなく、営農・経営相談まで幅広く相談活動ができるTACの育成が必要と考えます。